

# 連結決算説明 2017年12月期



(株)クボタ 取締役専務執行役員 企画本部長  
木村 茂

2018年2月21日 (水)



# 2017年12月期連結決算概要

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2017年12月期	2016年12月期	増減		直近予想比増減 (2017年11月)	
			金額	%	金額	%
売上高	<b>17,515</b>	<b>15,961</b>	+ 1,554	+ 9.7	+ 515	+ 3.0
国内	5,642	5,514	+ 128	+ 2.3	▲ 8	▲ 0.1
海外	11,873	10,447	+ 1,427	+ 13.7	+ 523	+ 4.6
営業利益	11.4% <b>1,988</b>	11.8% <b>1,888</b>	+ 100	+ 5.3	+ 8	+ 0.4
税引前当期純利益	12.2% <b>2,129</b>	12.3% <b>1,970</b>	+ 159	+ 8.1	+ 29	+ 1.4
当社株主に帰属する 当期純利益	7.8% <b>1,364</b>	8.3% <b>1,325</b>	+ 40	+ 3.0	▲ 36	▲ 2.5

(億円)	2017年12月期末	2016年12月期末	増減	
			金額	%
総資産	<b>28,539</b>	<b>26,706</b>	+ 1,833	+ 6.9
株主資本	<b>13,013</b>	<b>11,988</b>	+ 1,026	+ 8.6

## 事業セグメント別売上高

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2017年12月期	2016年12月期	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>14,366</b>	<b>12,721</b>	<b>+ 1,644</b>	<b>+ 12.9</b>
国内	2,945	2,815	+ 130	+ 4.6
海外	11,421	9,907	+ 1,514	+ 15.3
<b>水・環境</b>	<b>2,861</b>	<b>2,945</b>	<b>▲ 84</b>	<b>▲ 2.9</b>
国内	2,411	2,409	+ 3	+ 0.1
海外	450	537	▲ 87	▲ 16.2
<b>その他</b>	<b>289</b>	<b>294</b>	<b>▲ 6</b>	<b>▲ 1.9</b>
国内	286	291	▲ 5	▲ 1.8
海外	3	3	▲ 0	▲ 6.5
<b>売上高合計</b>	<b>17,515</b>	<b>15,961</b>	<b>+ 1,554</b>	<b>+ 9.7</b>
<b>国内売上高</b>	<b>5,642</b>	<b>5,514</b>	<b>+ 128</b>	<b>+ 2.3</b>
<b>海外売上高</b>	<b>11,873</b>	<b>10,447</b>	<b>+ 1,427</b>	<b>+ 13.7</b>

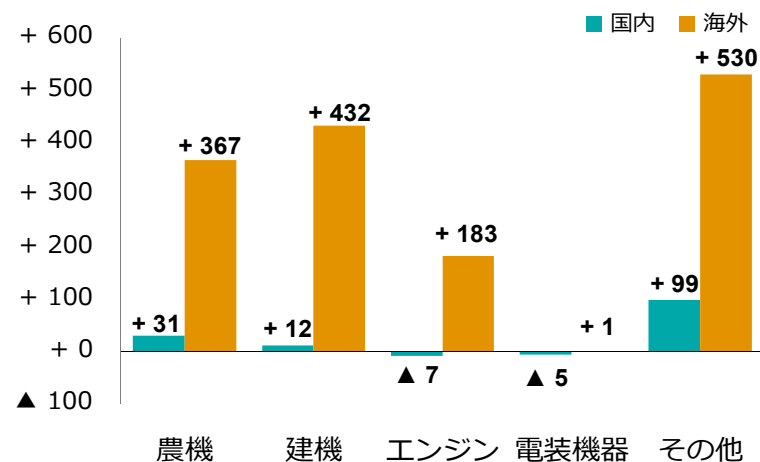
為替の影響(機械海外：+390億円、海外売上全体：+400億円) および  
グレートプレーンズ社取得の影響(+217億円)を除くと、機械海外は  
+9%の増。海外売上全体は+8%の増

## ● 機械 +1,644億円（国内：+130 海外：+1,514）

**国内** ・トラクタが排ガス規制強化後の低迷から回復。建機や農業関連商品も増

**海外** ・好景気による需要拡大を背景に北米の小型トラクタが増  
 ・作業機はコンバインが低調も中国の田植機が大幅増  
 ・建機およびエンジンは北米、欧州、中国などすべての主要地域で大幅増

■ 機械売上増減の内訳（億円）



## ● 水・環境 ▲84億円（国内：+3 海外：▲87）

**国内** ポンプや工事、水処理が減。土木工事用鋼管（杭）や合成管が増

**海外** 中東向けの鉄管が大幅減。環境、社会インフラも減

# 営業利益

(億円)	2017年12月期		2016年12月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,988	11.4	1,888	11.8	+ 100	+ 5.3

## 営業利益 (+100億円) の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(109円→112円) ユーロ(120円→127円) 他	▲10億円 ±0億円 +40億円	}	<b>+30億円</b>
<b>2.原材料</b>	機械(買入部品・CD/CU) 水・環境(鉄スクラップ 他)	▲20億円 ▲35億円		
<b>3.インフレ率変動</b>	米国▲67億円 中国+38億円 他			<b>▲39億円</b>
<b>4.人件費増減 (GP社含まず)</b>	売上原価 販管費	+9億円 ▲40億円	}	<b>▲31億円</b>
<b>5.特殊要因</b>	減価償却方法の変更(定率法→定額法) GP社 評価差額の償却 米国ハリケーンに関連する支払保険金	+15億円 ▲9億円 ▲7億円		
<b>6.増販益</b>				<b>+320億円</b>
<b>7.その他</b>				<b>▲124億円</b>

## ■ 特殊要因を除いた営業利益

(左肩は利益率)

(億円)	2017年12月期			2016年12月期			実績 営業利益 増減 ①-④	修正後 営業利益 増減 ③-⑥	売上高 増減
	実績 ①	特殊要因 ②	修正後 営業利益 ③=①-②	実績 ④	特殊要因 ⑤	修正後 営業利益 ⑥=④-⑤			
機械	13.8% 1,982	▲ 16	13.9% 1,997	14.5% 1,850	▲ 13	14.6% 1,863	+ 132	+ 134	+ 1,644
水・環境	9.2% 262	+ 5	9.0% 257	7.5% 222	-	7.5% 222	+ 41	+ 36	▲ 84
その他	9.9% 29	-	9.9% 29	12.3% 36	-	12.3% 36	▲ 8	▲ 8	▲ 6
全社/消去	▲ 284	▲ 4	▲ 281	▲ 220	-	▲ 220	▲ 64	▲ 61	
計	11.4% 1,988	▲ 14	11.4% 2,003	11.8% 1,888	▲ 13	11.9% 1,901	+ 100	+ 102	+ 1,554

## その他の収益（▲費用）

For Earth, For Life  


(億円)	2017年12月期	2016年12月期	増減
			金額
その他の収益(▲費用)	141	82	+ 59

### (内訳)

金融収支	65	65	▲ 1
有価証券売却損益	84	68	+ 16
為替差損益	81	▲ 36	+ 117
その他	▲ 89	▲ 16	▲ 73
デリバティブ評価損益	▲ 85	▲ 12	▲ 73
その他雑損益	▲ 4	▲ 5	+ 0

+44

## 税金等調整前純利益・純利益

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2017年12月期		2016年12月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
税引前当期純利益	2,129	12.2	1,970	12.3	+ 159	+ 8.1
法人所得税 (実効税率)	699 (32.8%)		565 (28.7%)		▲ 134 (+4.1%)	
持分法による投資損益	24		24		▲ 1	
当期純利益	1,453	8.3	1,429	9.0	+ 25	+ 1.7
非支配持分帰属損益 (控除)	89		104		+ 15	
当社株主に帰属する 当期純利益	1,364	7.8	1,325	8.3	+ 40	+ 3.0
1株当り配当	32 円		30 円		+ 2 円	
配当性向	29 %		28 %		+ 1 P	
自己株消却額	132 億円		60 億円		+ 72 億円	
総還元性向	39 %		33 %		+ 6 P	

2017年12月に自己株7,130,000株を消却



# 株主還元推移

For Earth, For Life  


(億円)	2014年 3月期	2015年 3月期	2015年 12月期 (9ヶ月)	2016年 12月期	2017年 12月期	増減	累計 (4年9ヶ月)	
当社株主に帰属する 当期純利益 (1株当たり)	1,327 (105.74円)	1,395 (111.68円)	1,101 (88.47円)	1,325 (106.58円)	1,364 (110.30円)	+ 40 (+3.72円)	6,512	
還元 額	配当 (1株当たり)	351 (28円)	349 (28円)	349 (28円)	373 (30円)	395 (32円)	+ 23 (+2円)	1,817
	自己株消却 (百万株)	100 (6百万株)	77 (4百万株)	25 (1百万株)	60 (4百万株)	132 (7百万株)	+ 72 (+3百万株)	394
	還元額計	451	426	374	433	527	+ 95	2,211

配当性向	26%	25%	32%	28%	29%	+ 1P	28%
総還元性向	34%	31%	34%	33%	39%	+ 6P	34%

配当性向 目標 30% を継続

自己株買取・消却 \* 毎年 実施 を継続

総還元性向 毎年 30%超 を継続

\* 自己株買取・消却： 買取“即”消却を継続する。また、買取資金には主に資産(保有株等)の売却手取金を充当する(有利子負債の抑制)

# 貸借対照表（資産）

（億円）	2017年12月期末	2016年12月期末	増減	為替を除く 増減
<b>流動資産</b>	<b>16,155</b>	<b>15,631</b>	<b>+ 525</b>	
現金及び預金	2,307	1,694	+ 613	
受取債権	6,482	6,328	+ 153	<b>+ 140</b>
短期金融債権	2,647	2,442	+ 206	
たな卸資産	3,625	3,562	+ 63	<b>▲ 20</b>
その他の流動資産	1,094	1,605	▲ 511	
<b>投資及び長期金融債権</b>	<b>7,532</b>	<b>6,775</b>	<b>+ 758</b>	
長期金融債権	5,782	5,083	+ 699	
その他	1,750	1,692	+ 59	
<b>有形固定資産</b>	<b>3,342</b>	<b>3,142</b>	<b>+ 200</b>	
<b>その他</b>	<b>1,509</b>	<b>1,158</b>	<b>+ 351</b>	
<b>資産合計</b>	<b>28,539</b>	<b>26,706</b>	<b>+ 1,833</b>	
<b>金融債権 計</b>	<b>8,429</b>	<b>7,525</b>	<b>+ 905</b>	<b>+ 900</b>

<ご参考> 海外子会社期末日レート

（円）

米ドル	113	116	▲ 3
ユーロ	135	123	+ 12

# 貸借対照表（負債）

(億円)	2017年12月期末	2016年12月期末	増減
<b>流動負債</b>	<b>9,191</b>	<b>8,366</b>	<b>+ 825</b>
短期借入金	1,825	1,939	▲ 114
営業支払債務	2,861	2,559	+ 303
一年内長期債務	1,817	1,452	+ 365
その他（短期）	2,688	2,417	+ 271
<b>固定負債</b>	<b>5,494</b>	<b>5,620</b>	<b>▲ 126</b>
長期債務	4,724	4,789	▲ 65
未払年金等	128	121	+ 7
その他（長期）	642	711	▲ 69
<b>負債合計</b>	<b>14,685</b>	<b>13,987</b>	<b>+ 698</b>
<b>有利子負債</b>	<b>8,366</b>	<b>8,180</b>	<b>+ 186</b>
<b>DEレシオ（ネット）</b>	<b>0.47</b>	<b>0.54</b>	<b>▲ 0.08</b>
<b>金融を除くDEレシオ（ネット）</b>	<b>▲ 0.14</b>	<b>▲ 0.06</b>	<b>▲ 0.08</b>

為替を除く  
増減

+ 170

# 貸借対照表（純資産）

For Earth, For Life  
Kubota

（億円）	2017年12月期末	2016年12月期末	増減
<b>株主資本</b>	<b>13,013</b>	<b>11,988</b>	<b>+ 1,026</b>
資本金	841	841	+ 0
資本剰余金	850	846	+ 4
利益準備金	195	195	-
その他の剰余金	10,462	9,614	+ 848
その他の包括損益累計額	666	493	+ 173
外貨換算調整勘定	314	260	+ 54
有価証券未実現損益	554	496	+ 58
年金負債調整額	▲ 201	▲ 262	+ 61
自己株式	▲ 2	▲ 2	+ 0
<b>非支配持分</b>	<b>841</b>	<b>732</b>	<b>+ 109</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,854</b>	<b>12,719</b>	<b>+ 1,135</b>
<b>株主資本比率</b>	<b>45.6%</b>	<b>44.9%</b>	<b>+ 0.7P</b>

## 株主資本利益率（ROE）推移

For Earth, For Life  
Kubota

（億円）	2014年3月期	2015年3月期	2015年12月期 （9ヶ月）	2016年12月期	2017年12月期	増減
株主資本	9,358	11,001	11,403	11,988	13,013	+ 1,026
当社株主に帰属する 当期純利益	1,327	1,395	1,101	1,325	1,364	+ 40
株主資本利益率	15.3%	13.7%	-	11.3%	10.9%	▲ 0.4P

### 【ご参考（非監査）】

（億円）	2014年1～12月 （12ヶ月、非監査）	2015年1～12月 （12ヶ月、非監査）
株主資本	10,730	11,403
当社株主に帰属する 当期純利益	1,393	1,494
株主資本利益率	14.0%	13.5%

# キャッシュ・フロー計算書

For Earth, For Life  


(億円)	2017年12月期	2016年12月期	増減
営業活動による純キャッシュ・フロー	2,223	1,850	+ 373
投資活動による純キャッシュ・フロー	▲ 1,303	▲ 1,675	+ 372
固定資産の購入	▲ 644	▲ 561	▲ 83
その他	▲ 659	▲ 1,114	+ 455
財務活動による純キャッシュ・フロー	▲ 326	114	▲ 439
為替変動による現金及び現金同等物への影響	19	▲ 57	+ 76
現金及び現金同等物の増減額	613	231	+ 382
フリーキャッシュ・フロー	1,579	1,288	+ 290

# 金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

## 貸借対照表

(億円)	2017年12月期末		2016年12月期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
<b>資産合計</b>	<b>10,211</b>	<b>17,792</b>	<b>9,385</b>	<b>18,097</b>
現金及び預金	126	2,181	125	1,569
受取債権	291	6,198	298	6,037
金融債権	8,429	-	7,525	-
たな卸資産	-	3,625	-	3,562
有形固定資産	5	3,338	4	3,138
その他の資産	1,360	2,450	1,433	3,790
<b>負債合計</b>	<b>8,840</b>	<b>5,154</b>	<b>8,124</b>	<b>6,484</b>
有利子負債	8,071	539	7,447	932
その他の負債	769	4,615	677	5,552
<b>純資産合計</b>	<b>1,371</b>	<b>12,638</b>	<b>1,261</b>	<b>11,613</b>

## 損益計算書（金融事業）

(億円)	2017年12月期		2016年12月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	591		510		+ 81	+15.9
営業利益	247	41.7	205	40.3	+ 41	+20.1
当社株主に帰属する 当期純利益	125	21.1	133	26.2	▲ 9	▲ 6.6

# 機械事業の市場環境



## 米国

### 良好な景気を背景にトラクタ、建機、エンジンの各市場が堅調に推移

#### トラクタ

小型は底堅い景気の恩恵を受けて、高水準の需要を維持。中型は主要顧客である酪農・畜産農家の収入改善により、年後半からの需要回復を見込む。大型は穀物価格の低迷により引き続き低調。UVの新機種効果を見込む

#### 建機

旺盛な住宅・建設需要を背景に市場拡大が継続。税制改革も需要を押し上げ。SSLは、ディーラー在庫充当の反動減が一巡し、卸売が増加

#### エンジン

税制改革などにより建機向けは好調持続。オイル・ガス市場も回復し、ライトタワーなど産業機械向けも増加

#### ■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2016年	0-40馬力	+ 26.1%	+ 7.1%	+ 9.6%	+ 14.0%	+ 12.7%	+ 12.1%
	40-120馬力	▲ 0.7%	▲ 4.3%	▲ 10.6%	▲ 2.5%	▲ 2.9%	▲ 4.9%
	0-120馬力	+ 14.9%	+ 3.5%	+ 2.3%	+ 7.4%	+ 7.3%	+ 6.0%
2017年	0-40馬力	+ 13.7%	+ 11.2%	▲ 1.7%	+ 8.9%	+ 12.0%	+ 7.8%
	40-120馬力	▲ 4.0%	▲ 1.4%	▲ 4.0%	+ 2.4%	▲ 2.5%	▲ 1.6%
	0-120馬力	+ 7.3%	+ 7.7%	▲ 2.4%	+ 6.5%	+ 7.5%	+ 4.7%

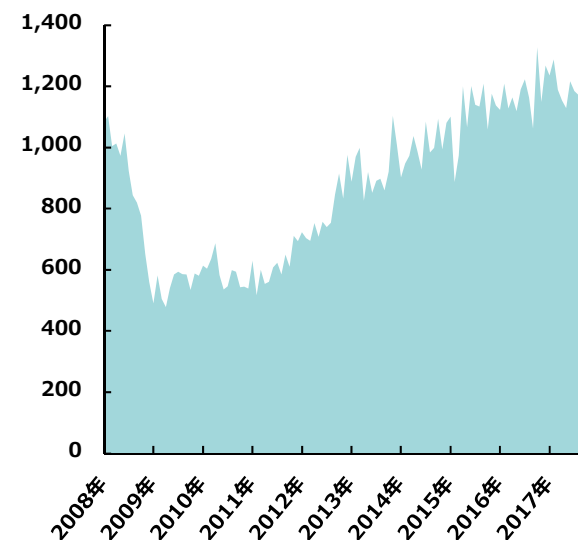
出展：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

#### ■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-12月
2016年		+ 27.6%	+ 13.0%	+ 8.9%	+ 6.2%	+ 18.4%	+ 12.7%
2017年		+ 12.2%	+ 12.4%	+ 12.0%	+ 19.4%	+ 12.3%	+ 14.0%

出展：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）  
（千件）



出展：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

### 欧州

**農業市場は緩やかに回復。  
旺盛な工事需要を背景に、建産機市場の活況は持続**

### トラクタ

小型は英国が緊縮財政の影響を受けるも、堅調な景気により前年並み。中型は農作物・生乳価格の上昇により、フランス、ドイツ、スペイン、東欧などで需要拡大を見込む

### インプラメント

一部地域での天候不順の影響はあるが、全体としては回復基調が続く

### 建機

需要はリーマン前の水準程度まで回復しており、景況感も改善。フランスやイタリアでは、住宅などの建設需要拡大を背景に成長持続。ドイツやイギリスでは、工事量の一層の拡大が予想されるものの、2017年までに建機への投資や更新が高水準で進んでおり、建機市場は前年並みの規模を想定

### エンジン

好調な建産機需要を背景に成長持続。  
2019年からの新排ガス規制（Stage V）に伴う仮需も見込む

## タイ

米価回復や集中豪雨による洪水被害の解消により市場は正常化。自然災害の沈静化を期待。周辺国も再び成長軌道へ

## トラクタ・コンバイン

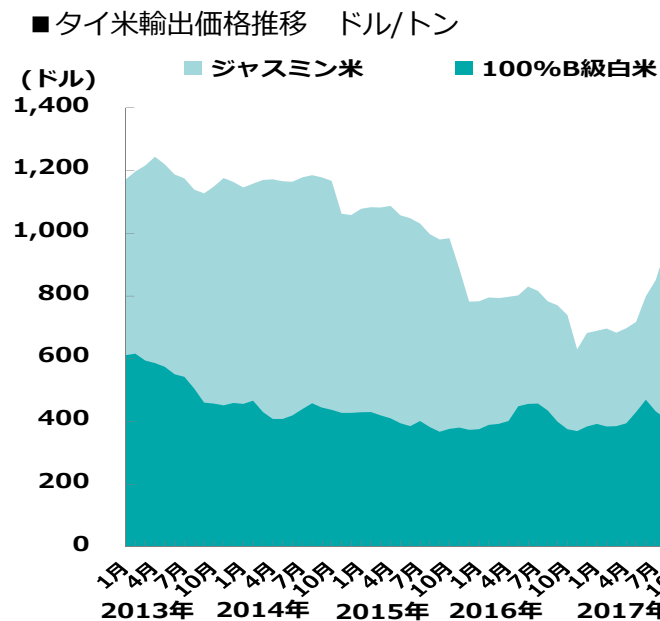
稲作向けは、洪水被害解消に伴い農家の購買マインドは改善。政府在庫米の減少や好調な輸出により米価も回復基調。畑作向けは、製糖工場の新設が計画されるシュガーケーン向けは需要拡大が継続。現地開発機やインプルメントによる畑作市場の深耕を図る

## 建機

都市部での建設労働力不足が拡大し、需要は底堅く推移。一方で、市場の拡大を受けた競合の参入により、競争が本格化

## 周辺国

<カンボジア>  
トラクタは、人手不足により需要拡大。耕運機からの転換も進む。コンバインは、堅調な更新需要により増  
<ミャンマー>  
農村部の労働力不足に伴う機械化の進展により需要拡大



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

## 中国

**中央政府農機購入補助金の増額は想定せず。補助金単価減額の影響により高能力・高性能な機械に対する需要が一層高まる**

### トラクタ

現地製トラクタの販売を推進。補助金単価減額や高作業効率ニーズを受けて、市場の大型化は一層進展

### コンバイン

補助金の減額などを受けて、高処理量機や大型機への需要の移行が続く。クローラコンバインのシェア拡大と併せて、機械化率の低いコーンコンバインなどのホイールタイプコンバインの販売を強化

### 田植機

コーンからコメへの転作奨励などにより急伸した2017年の反動で、市場は縮小を見込む。減肥・減薬ニーズの高まりに応える多機能田植機などで着実な拡販を図る

### 建機

一帯一路政策や活況な都市インフラ工事、労働力不足を背景に拡大

#### ■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
補助金(億元)	第1次	-	-	-	-	110	130	200	170	210	228	186
	年間計	20	40	130	155	175	215	218	238	238	237	186

## 日本

米の直接支払交付金は廃止。水田活用の直接支払交付金が増。高齡化やコメ需要の減退懸念などにより農家にとって難しい局面。都市部を中心にインフラ工事が増加し、建設需要は拡大

## 農機

大型や高機能製品の販売が好調に推移するも、小規模農家向けが低迷し、市場全体では横ばい。  
 低コスト・省力化、高付加価値化の市場ニーズへの訴求を図る

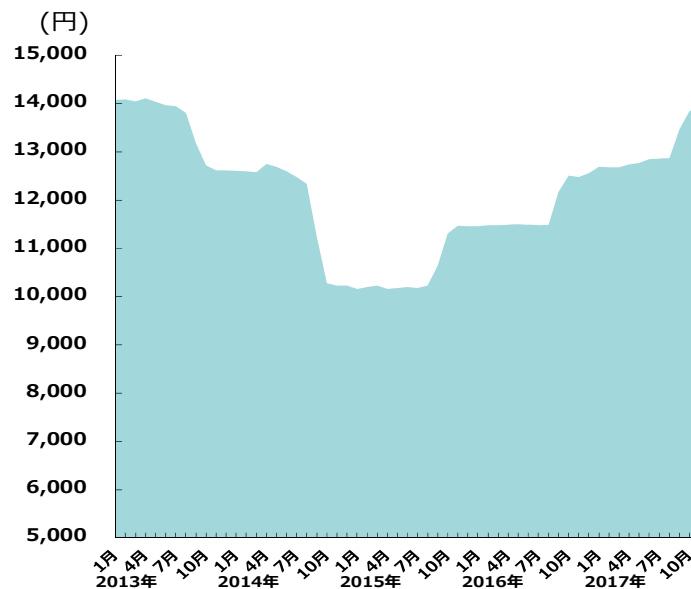
## 建機

2017年のエンジン排ガス規制に係る大型機への優先投資の平準化や高水準で推移する建設需要を受けて増加

## エンジン

レンタル業者の投資が小型機へと移行することで小型エンジンが増。OEM先の排ガス規制に関連した海外向け在庫の調整も一巡し、増加見込み

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

# 業績予想

2018年12月期第1四半期より国際財務報告基準（IFRS）を任意適用

■ IFRS適用による連結業績への影響

（億円）

2017年12月期（実績）					
米国基準		IFRS概算値 *		差異	主な調整事項
売上高	17,515	売上高	17,515	▲1	
国内	5,642	国内	5,642	-	
海外	11,873	海外	11,873	▲1	
営業利益	11.4% 1,988	営業利益	11.4% 2,005	+17	開発費の資産化 +48、 退職給付費用の調整 ▲21
税引前当期純利益	12.2% 2,129	税引前利益	12.3% 2,146	+17	同上
当社株主に帰属する 当期純利益	7.8% 1,364	親会社の所有者に帰属する 当期利益	7.7% 1,346	▲19	法人所得税増 ▲34 (米国連邦法人税率変更の影響含む)

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。

## ■ IFRS適用による連結業績への影響（2Q累計）

（億円）

2017年12月期 2Q累計（実績）					
米国基準		IFRS概算値 *		差異	主な調整事項
売上高	8,460	売上高	8,513	+53	
国内	2,806	国内	2,806	-	
海外	5,654	海外	5,707	+53	インセンティブ引当金の調整 +53
営業利益	11.9% 1,006	営業利益	11.9% 1,016	+10	インセンティブ引当金の調整 +53、 開発費の資産化 +21、 退職給付費用の調整 ▲10、 賦課金に係る調整 ▲20、 営業費用の期間配分に係る調整 ▲19、 為替差損益の組替 ▲16
税引前四半期純利益	12.7% 1,076	税引前四半期利益	12.9% 1,101	+25	同上 但し、為替差損益の組替を除く
当社株主に帰属する 四半期純利益	8.3% 704	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	8.5% 720	+15	

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期2Q累計実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。



## 2018年12月期業績予想

For Earth, For Life  


(億円)	2018年12月期 (予想、IFRS)	2017年12月期 (実績、IFRS概算値*)	増減		2018年12月期 2Q累計 (予想、IFRS)
			金額	%	
<b>売上高</b>	<b>18,200</b>	<b>17,515</b>	<b>+ 685</b>	<b>+ 3.9</b>	<b>9,200</b>
<b>国内</b>	<b>5,750</b>	<b>5,642</b>	<b>+ 108</b>	<b>+ 1.9</b>	<b>2,830</b>
<b>海外</b>	<b>12,450</b>	<b>11,873</b>	<b>+ 577</b>	<b>+ 4.9</b>	<b>6,370</b>
<b>営業利益</b>	11.7% <b>2,130</b>	11.4% <b>2,005</b>	<b>+ 125</b>	<b>+ 6.2</b>	11.8% <b>1,090</b>
<b>税引前利益</b>	12.0% <b>2,190</b>	11.8% <b>2,062</b>	<b>+ 128</b>	<b>+ 6.2</b>	12.2% <b>1,120</b>
親会社の所有者に帰属する <b>当期利益</b>	8.3% <b>1,510</b>	7.4% <b>1,287</b>	<b>+ 223</b>	<b>+ 17.3</b>	8.4% <b>770</b>

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。  
 また、同条件で比較するため、2018年12月期より適用するIFRS第9号に基づき、2017年12月期実績概算値からも有価証券売却益を除いて比較しています。

## 事業セグメント別売上高予想

For Earth, For Life  
Kubota

(億円)	2018年12月期 (予想、IFRS)	2017年12月期 (実績、IFRS概算値*)	増減	
			金額	%
<b>機械</b>	<b>14,970</b>	<b>14,365</b>	<b>+ 605</b>	<b>+ 4.2</b>
国内	2,970	2,945	+ 25	+ 0.8
海外	12,000	11,420	+ 580	+ 5.1
<b>水・環境</b>	<b>2,950</b>	<b>2,861</b>	<b>+ 89</b>	<b>+ 3.1</b>
国内	2,500	2,411	+ 89	+ 3.7
海外	450	450	-	-
<b>その他</b>	<b>280</b>	<b>289</b>	<b>▲ 9</b>	<b>▲ 3.1</b>
国内	280	286	▲ 6	▲ 2.1
海外	-	3	▲ 3	▲ 100.0
<b>売上高合計</b>	<b>18,200</b>	<b>17,515</b>	<b>+ 685</b>	<b>+ 3.9</b>

<b>国内売上高</b>	<b>5,750</b>	<b>5,642</b>	<b>+ 108</b>	<b>+ 1.9</b>
<b>海外売上高</b>	<b>12,450</b>	<b>11,873</b>	<b>+ 577</b>	<b>+ 4.9</b>

為替の影響(▲20億円)を除くと、機械海外は+5%の増。海外売上全体は+5%の増

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。

# 営業利益予想

(億円)	2018年12月期 (予想、IFRS)		2017年12月期 (実績、IFRS概算値*)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,130	11.7	2,005	11.4	+ 125	+ 6.2

## 営業利益 (+125億円) の増減要因

<b>1.為替変動</b>	米ドル(112円→110円) ユーロ(127円→130円) 他	▲10億円 +60億円 +20億円	} <b>+70億円</b>
<b>2.原材料</b>	機械(買入部品・CD/CU) 水・環境(鉄スクラップ 他)	±0億円 ▲40億円	} <b>▲40億円</b>
<b>3.インフレ率変動</b>	米国▲35億円 中国▲20億円 他		<b>▲55億円</b>
<b>4.人件費増減</b>	売上原価 販管費	±0億円 ▲40億円	} <b>▲40億円</b>
<b>5.特殊要因</b>	米国ハリケーンに関連する支払保険金(前期)	+7億円	<b>+7億円</b>
<b>6.増販益</b>			<b>+250億円</b>
<b>7.その他</b>			<b>▲67億円</b>

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。

## ■ 特殊要因を除いた営業利益

(左肩は利益率)

(億円)	2018年12月期 (予想、IFRS)			2017年12月期 (実績、IFRS概算値*)			予想 営業利益 増減 ①-④	修正後 営業利益 増減 ③-⑥	売上高 増減
	予想 ①	特殊要因 ②	修正後 営業利益 ③=①-②	実績 ④	特殊要因 ⑤	修正後 営業利益 ⑥=④-⑤			
機械	14.7% 2,200	-	14.7% 2,200	13.9% 2,004	▲ 7	14.0% 2,011	+ 196	+ 189	+ 605
水・環境	8.1% 240	-	8.1% 240	8.9% 253	-	8.9% 253	▲ 13	▲ 13	+ 89
その他	7.1% 20	-	7.1% 20	10.4% 30	-	10.4% 30	▲ 10	▲ 10	▲ 9
全社/消去	▲ 330	-	▲ 330	▲ 282	-	▲ 282	▲ 48	▲ 48	
計	11.7% 2,130	-	11.7% 2,130	11.4% 2,005	▲ 7	11.5% 2,012	+ 125	+ 118	+ 685

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。

## 想定為替レート及び設備投資等

### ■ 為替レート

		2018年12月期 (予想)	2017年12月期 (実績)	2016年12月期 (実績)
円/米ドル	上期(1～6月)	110	112	112
	下期(7～12月)	110	112	106
	年間(1～12月)	110	112	109
円/ユーロ	上期(1～6月)	130	122	125
	下期(7～12月)	130	132	116
	年間(1～12月)	130	127	120

### ■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2018年12月期 (予想、IFRS)	2017年12月期 (実績、IFRS概算値*)	2017年12月期 (実績、米国基準)	2016年12月期 (実績、米国基準)
設備投資	700	522	522	654
減価償却費	530	460	453	434
研究開発費	480	434	481	430

\* IFRS概算値は、2018年2月時点で2017年12月期実績をIFRSベースに調整した概算値であり、会計監査の結果により変更となる可能性があります。

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。



ご清聴ありがとうございました。

**For Earth, For Life**  
**Kubota**